# 第４回　小川町総合振興計画審議会
# 議事要旨

◆日　時：平成 27 年 10 月 13 日（火）　10：00～
◆場　所：中央公民館　２階　大会議室
◆次　第　　進行　政策推進課　矢島富男 主幹

１．開会
２．あいさつ　　小久保文雄 会長
３．議事　　座長　小久保文雄 会長
　（１）総合振興計画基本構想（案）について　　政策推進課　山﨑浩司 課長
　（２）その他
４．その他
　次回の会議日程について　　政策推進課　石川俊一 主任

【議事内容】

◆（１）総合振興計画基本構想（案）について

| | |
|---|---|
| 高橋委員 | ・P15 の土地利用図構想図について、観光を大切にしようということで、観光・交流ゾーンがあると思うが、ゾーンに入らないと、予算の使い方が制限されてしまうのか。これから観光に力を入れていくと考えると、ゾーンを大きめに取っておくことは可能か。 |
| 事務局 | ・観光・交流ゾーンについて、下小川・下里地区の下にある国指定の遺跡だったり、大河地区など今回は広めにとっている。図上に落ちていないからと言って、まったくゾーンに入らないわけではなく、付随するものもある。ここは含めるべきだといった具体的なご意見があればいただきたい。 |
| 高橋委員 | ・特に具体的な考えがあっての発言ではないが、点としての観光ではなく、ゾーンで指定できればと思う。 |
| 事務局 | ・図や文章の表現の中で、そのような考え方が含められるか検討したいと思う。 |
| 吉田委員 | ・観光・交流ゾーンについて、やはりゾーンに入っていると、地域からの要望も通りやすくなるのではないかと思う。竹沢について、吉田家住宅から三光神社付近が観光の案内コースになっているが、そのコースの中にある田んぼが荒れ地になっている。ゾーンに入っていて、お金がもらえるようであれば、レンゲソウなどを植えたいと思っている。 |
| 事務局 | ・観光・交流ゾーンの表現方法になってくるかと思うが、吉田家住宅を含めた枠を広げるかどうか検討する。 |
| 江原委員 | ・P4 のインフラの老朽化について、槻川にかかっている 3 本の橋が古く狭いため、この 10 年の間に架け替えを検討したほうがよいのではないか。<br>・環状一号線ができつつあるが、小川町駅までの直線道路ができれば、まちなかの渋滞が緩和できると思う。 |
| 事務局 | ・槻川の 3 つの橋についてだが、小川町では橋梁の長寿命化計画を作成しており、15m 以上の橋を診断済みである。その結果、建て替えしないと危険だという診断にはなっておらず、今のところは長寿命化していくとなっている。 |
| 曽根委員 | ・小川町は財政難のため、町民からの寄付も検討してほしい。 |
| 事務局 | ・基本構想に位置付けるか、基本計画に位置付けるかということもあるが、検討したいと思う。 |
| 山岸委員 | ・市街化区域の中に新しい住民が本当に住めるのか。空き家が 950 件ほどあるが、壊して住むのか。若い人を住まわせるためにどういう対策をするつもりか。都市計画を見直さないと、人口は増えないと思う。土地改良した優良な農地はきちんと残しつつ、そうでないところはもっと緩い規制にするなど、土地利用を見直したほうがよい。 |
| 事務局 | ・町としても大型商業施設や工業を誘致したいと思っており、農地の保全とのバランスの問題がある。国としては、人口が減っているため、市街化区域をさらにコンパクトにしていこうという考え方である。あくまでも国としての考え方 |

| | |
|---|---|
| | であり、町としては住宅地は既存の部分を住宅地としている。農地法との兼ね合いだと思うが、規制緩和を町としてどこまで踏み込めるか、前期基本計画の中でさらにご議論いただけたらと思う。 |
| 服部委員 | ・河川について、橋げたに流木等がたまってしまっている。県で定期的にどういう対策をとっているか、町ではどう点検をしているのか。 |
| 事務局 | ・橋の詳細については、担当課ではないため、今すぐにはご回答できない。お話いただいた内容について、具体的に場所が分かっているので、建設課へ詳細を伝えていただければと思う。 |
| 山岸委員 | ・P2 の計画策定の考え方に、町民参画について記載があり、行政にできることには限界があるためこの考えは推進していくべきである。地域の活動に対し、県でも補助金を出しているため、もっと PR をして活用して、町民参画を推進していきたい。 |
| 高橋委員 | ・構想というのは、現状がこうだからではなく、将来こうしたいからという仕掛けが必要だと思う。なので、何かあるから観光・交流ゾーンにしてほしいというわけではなく、将来のために、観光・交流ゾーンを指定して、指定されると、地域の皆さんがそこをきれいにするなどの努力をするようになるだろうと思う。 |
| 事務局 | ・今のご意見を受け、例えば、P14 の観光・交流ゾーンの文言について、「観光・交流の空間として町民の皆さんと協力しながら形成を図ります」などと、町民の皆さんと一緒になってやっていくという内容を入れるとよいかもしれない。 |
| 安藤委員 | ・P15 の保全森林ゾーンについて、以前、中国の人が山を売ってくれという話があった。乱開発等につながっていくと懸念されるが、町としてはそういった場合、対応をどう考えているのか。<br>・寄付について、町民の寄付だけではなく、企業の社会貢献ということで企業がお金を出して一緒に活動をするという CSR という考え方がある。CSR で地域に絡んでいただいて、仲よくなると小川町に会社を出してくれるということも考えられなくはないと思うため、CSR の受け皿を作っていただければと思う。<br>・観光・交流ゾーンとは別のくくりでもよいが、小川町ではサイクリングやハイキングが多く、山と山をつなぐ沿道も重要になってくると思うため、そこの位置づけもあったほうがよいのではないか。 |
| 事務局 | ・中国の方が山を買うことに対して、現在、小川町で議論した経緯はない。ただ、埼玉県と小川町で、水源地の維持のためにそういうことを話したことはある。外国の方が日本の土地を買うということについて、どこまで止められるかということもあるが、例えば水源地である山林を町民の寄付で買って確保するということも考えられる。<br>・CSR について、公共活動として、例えば小川町ではヤオコーが山林の保護活動をしている。企業と地域の方々との協力に行政がかむことで、三者の間でうまくいくということであれば、行政としても積極的に関与していくことも考えら |

| | |
|---|---|
| | れる。<br>・サイクリング等について、サイクリングではなかなか地域にお金を落としてくれないため、どうやってお金を落としてくれるか考えていかなければと思う。 |
| 曽根委員 | ・小川町ではやはり和紙が重要だと思う。そのため、駅前周辺で、伝統工芸会館にある人形を飾るなど、和紙の町ということを強調するものを置くべきである。また駅前を和紙ロードにしてはどうか。<br>・案内所の場所が分かりにくいため、もっと駅の近くに持ってくるべきである。<br>・万葉集も重要であるためもっと PR すべきである。<br>・路線バスのメインの通りに、きれいな川が流れているので、カワニナを増やし、蛍の川にしてはどうか。<br>・仙元山について、ローラー滑り台は有名だが、子どもがメインの公園になっているため、例えば星空を観察できるとか、キャンプができるなど、老若男女が活用できる公園にしてほしい。 |
| 事務局 | ・まちの行政施策として取り組んでいく際には、町民の皆さんのご意見も頂きながら進めていかなければと思うため、貴重なご意見としていただく。 |
| 吉田委員 | ・P6 の町の概況について、町史では主な河川は槻川、兜川、市野川の 3 つであり、新川、館川は入っていない。地域の人たちも後者の 2 つはイメージがないと思うため、「主な河川」という中では、入れないほうがよいのではないか。 |
| 事務局 | ・審議会のご意見として、入れないほうがよいということであれば、削除することは問題ない。 |
| 議長 | ・主な河川として 3 つの河川のみということで良いか。 |
| 一同 | （異議なし） |
| 山岸委員 | ・P14 の観光・交流ゾーンについて、映画等の撮影場として、小川町のよいところを使ってもらうために、もっと PR 等をしてはどうか。 |
| 事務局 | ・今のお話は、フィルムコミッションという取り組みかと思う。都や他の市町村でもそういった取り組みを行っているところも多い。町の魅力として発信できればと思う。 |
| 高橋委員 | ・P5 の第 5 節の小川町の状況が個別具体的に書きすぎのような気がする。他の表現とレベルを合わせてはどうか。<br>・P17 に「環境自治体」「地域包括システム」という言葉が出てくるが、どういう意味か。<br>・P18 の第 7 節の広域行政について、第 4 次基本構想には市町村合併について記載があったが、今回無くなったのはなぜか。 |
| 事務局 | ・P5 の小川町の現況については、確かにほかのものよりも具体的になっているが、具体的でないと困るわけではないため、他と表現のレベルを合わせたいと思う。<br>・「環境自治体」については、あまり一般の方には浸透していない表現であるため、町民の方が見ても分かりやすいように、「環境に配慮した自治体」といっ |

| | |
|---|---|
| | た内容に変更したいと思う。「地域包括システム」についても同様に表現を検討する。<br>・市町村合併について、以前は国から合併に伴う財政措置があったが、現在はない。その中で、市町村合併した場合にメリットがあるかどうかを検討したときに、今後の 10 年間は難しいだろうということで記載をしていない状況である。 |
| 瀬川委員 | ・「地域包括システム」とあるが「地域包括ケアシステム」のほうがよいのではないか。岸田委員、いかがか。 |
| 岸田委員 | ・社会福祉協議会では、「地域包括ケアシステム」という言葉を使っている。医療・介護・地域が連携をして高齢者を支えていこうという考えである。平成 27 年度に改正された介護保険の主な内容として、地域の支えあいが重視されている。一般の方向けに簡単な言葉にするなら「地域包括システム」でも問題ないと思う。 |
| 事務局 | ・P10 の基本理念について、委員のみなさんのご意見をお伺いしたい。 |
| 議長 | ・事務局から質問があったがいかがか。 |
| 曽根委員 | ・P9 にマイナンバー制度について記載があるが、小川町ではサイバー攻撃等についてどのような対策をとっているのか。 |
| 事務局 | ・小川町のシステムは、マイナンバー等を管理する基幹系システムと情報系システムの 2 つに分かれている。基幹系システムは、インターネットからアクセスできないため、ネットから攻撃があってもたどり着けないということである。また、各市町村で条例を定めれば、マイナンバーの独自利用ができるが、小川町では行っていない。 |
| 安藤委員 | ・P10 の基本理念について、1 つ目 2 つ目は結局活力につながる話なので、3 つ目は、「人を活かしたまちづくり」にしてはどうか。 |
| 事務局 | ・おっしゃる通りだと思うため、審議会で議論していただければと思う。 |
| 岸田委員 | ・今ご意見があった P10 の基本理念の 3 つ目について、小川町は高齢化は避けられないため、高齢者になっても活躍できる町といった内容も入れてほしい。<br>・先ほど「地域包括システム」で問題ないといったが、やはり統一したほうがよいと思うため「地域包括ケアシステム」にしたほうがよいと思う。 |
| 瀬川委員 | ・他のところでも「ケア」は入っているため、入れるかどうか検討していただいたほうがよい。 |
| 事務局 | ・表現は検討する。 |
| 曽根委員 | ・P10 の基本理念について、二重線で取り消しされているものについて、なぜ削除となったのか。 |
| 事務局 | ・製麺は基本構想に入れる要素としては弱いのではないかと考え、「などの特産物」という形で文言を整えた。 |
| 議長 | ・本日いただいたご意見をもとに文言の修正はあると思うが、基本的にはこれで基本構想の策定ということで良いか。 |
| 一同 | （異議なし） |

| | |
|---|---|
| 議長 | ・本日の議事録も公開する予定だが問題ないか。 |
| 一同 | （異議なし） |

◆（２）その他

| | |
|---|---|
| 事務局 | ・パブリックコメントについて、10 月 16 日を予定していたが、基本構想と基本計画をセットで 12 月中下旬に延期することを考えている。 |
| 事務局 | ・次回の会議の日程について、10 月 27 日、11 月 26 日、12 月 18 日にいずれも 10 時からリリック 2 階で開催を予定している。開催通知は後日郵送させていただく。 |

以上

小川町第５次総合振興計画審議会

第４回会議　出欠簿　（10月13日）

| No. | 氏　名 | 役　職　等 | 出欠 |
|---|---|---|---|
| 1 | 小久保　文　雄 | 小川町商工会長 | ○ |
| 2 | 佐　藤　守　朗 | 埼玉中央農業協同組合理事 | × |
| 3 | 山　岸　幸　男 | 小川町区長会会長 | ○ |
| 4 | 江　原　隆　二 | 比企西部地区労働組合協議会長 | ○ |
| 5 | 村　上　紀　子 | 小川町児童・民生委員協議会長 | ○ |
| 6 | 岸　田　直　幸 | 小川町社会福祉協議会事務局次長 | ○ |
| 7 | 柳　瀬　安　代 | 小川保育園保護者会長 | × |
| 8 | 鈴　木　健　史 | 埼玉県川越比企地域振興センター東松山事務所長 | ○ |
| 9 | 斎　藤　　透 | 埼玉県寄居林業事務所長 | × |
| １０ | 角　田　敏　夫 | 小川警察署長 | × |
| １１ | 山　口　明　夫 | 小川消防署長 | ○ |
| １２ | 瀬　川　　豊 | 医師 | ○ |
| １３ | 松　本　正　生 | 埼玉大学社会調査研究センター長（経済学部　教授） | × |
| １４ | 吉　田　　稔 | 文化財保護委員長 | ○ |
| １５ | 服　部　昌　史 | NPO法人 たすけあいほっとライフ小川代表 | ○ |
| １６ | 安　藤　和　広 | NPO法人 霜里学校代表 | ○ |
| １７ | 大　塚　頼　司 | 町民代表 | ○ |
| １８ | 柿　間　栄　二 | 町民代表 | ○ |
| １９ | 曽　根　美栄子 | 町民代表 | ○ |
| ２０ | 髙　橋　功　人 | 町民代表 | ○ |
| | 福　田　弘　昌 | 副町長 | ○ |
| | 山　﨑　浩　司 | 政策推進課長 | ○ |
| | 矢　島　富　男 | 政策推進課主幹 | ○ |
| | 粟 生 田 寿 彦 | 政策推進課主席主査 | ○ |
| | 石　川　俊　一 | 政策推進課主任 | ○ |